

# 市美術博物館 秋のサンクスデー 多彩なイベント楽しむ

苦小牧市美術博物館は文化の日の11月3日、常設展や企画展を観覧無料にする「あみゅー 秋のサンクスデー」を開きました。

毎年開催している人気のイベント。クイズラリーをはじめ、様々な体験イベントやロビーコンサートなどを企画し、多くの親子連れらでにぎわいました。

同館では、12月2日まで苦小牧市樽前に工房を持つ金属彫刻家、藤沢レオさんによる企画展「Still Living (スティル リビング)」を開催中。この日は藤沢さんが講師となり、熱した鉄をたたいてキーホルダーを作るワークショップも行われました。

ほかに、桶や樽に使われる「たが」の仕組みを学び、実際に編んで腕輪を作る体験や、苦小牧縄文会との協力で火おこしなどに挑戦する「わくわく縄文ランド」、市美術館友の会が主催の二胡とギターによるロビーコンサートも開き、来館者は「芸術の秋」を満喫しました。

鉄をたたくワークショップに参加した大場龍其(りゅうき)くん(苦小牧西小3年)は、「鉄をたたいて形が変わるところが面白かった」と話していました。



▲鉄をたたいてキーホルダー作り



▶「たが」の編み方を学ぶ来館者たち

# いきいきひろば

## あけの保育園子育てルーム みんな大好き！いももち作り

苦小牧市あけの保育園(明野新町5)に併設されている子育てルームで11月6日、いももち作りが行われ、6組の親子が参加しました。

未就学児を持つ親子が利用する子育てルームでは、地域の人たちとふれ合えるサロンとして企画する行事も行っています。

今回は明野柳町の老人会「悠友クラブ」の会員を招き、園の畑で収穫したジャガイモを使って一緒にいももち作りを体験しました。

出来上がったいもちはホットプレートで焼き上げ、「甘くておいしいね」と話しながら、全員で楽しく味わいました。



## 今年も熱い戦い！ グラチャンは誰の手に！

糸井の森パークゴルフ場(苦小牧市糸井465)で11月13日、今年のナンバーワンを決める「糸井の森頂上決戦グランドチャンピオン大会」が行われ、毎月の月例大会から出場権を獲得した123人が熱戦を繰り広げました。

男子は、10月の「ゼビオカップ」でも優勝した絶好調の漆坂豊治さんがダントツの95打でグラチャン初優勝。「10位以内に入りたいたいなあと頑張ってプレーしていました。もっと良いスコアじゃないと優勝できないと思ってたのでうれい」と喜びの笑顔。2位には98打の宮尾正信さん、3位は99打の榊井捷正さんが続きました。

女子は101打で並んだ3人がプレーオフにもつれ込み、工藤みきさんが通算15勝目、グラチャン初優勝を勝ち取りました。2位は同打の三條えみこさん、3位は同打で矢野美知子さん、4位は同打で矢野美知子さん、5位は同打で矢野美知子さんに決まりました。



▲男子の上位3名



▲女子の上位3名

## ガイラルディア杯少年野球大会 女子選手所属の4チームが出場

第4回ガイラルディア杯杯争奪選抜少年野球大会が11月4日、苦小牧市のぞみ町1のぞみ公園グラウンドで開催されました。

女子選手が所属する市内外の4チームが出場し、元気があふれるプレーを繰り広げました。

女子軟式野球チーム、苦小牧ガイラルディアが主催する、女子選手の活躍と交流を目指す大会。YC苦小牧西部が協賛。

今回は明柳ジャイアンツ(苦小牧)とリトルライオンズ(同)、恵庭和光ジュニアライオンズ(恵庭)、富岸ファイターズ(登別)が出場し、トーナメントと順位戦を展開しました。

小春日和の心地よい陽気の中、選手たちは熱い戦いを展開。決勝は、昨年準優勝だった恵庭和光ジュニアライオンズが富岸ファイターズを19対1で敗り、念願の優勝に輝きました。

3位は明柳ジャイアンツ、4位はリトルライオンズ。

苦小牧ガイラルディアの大滝裕生監督は、「皆さん様々な目標があると思いますが、いろいろな経験を生かしてこれからの野球人生を頑張ってもらいたい」と話していました。



▲優勝に輝いた恵庭和光ジュニアライオンズと苦小牧ガイラルディアのメンバー